

新春インタビュー



今年の抱負 議長 小野 文之

—昨年1年を振り返って印象に残った出来事は
議長 まずは、町民の皆様
に謹んで新年のお慶びを申
し上げます。

昨年、印象に残った出来
事と言えば、1年延期して
開催された東京2020オ
リンピック・パラリンピッ
ク、新型コロナウイルスフ

クチン接種の実施、岸田新
政権の発足と衆議院議員総
選挙、そして何と言っても
年の暮れに発生したF16戦
闘機の燃料タンク投棄問題



※撮影のためマスクを外しています。

です。町民に多大な不安を
与え、一步誤ると重大な事態
につながるかねない事案でし
たので、町議会としても東北
防衛局長あてに抗議と再発防
止の要請書を提出したところ
です。

—我々議員が心掛けるべきこ
とは

議長 町民が住み慣れた町で
安全安心に生活できるまちづ
くりを実現するために、議会
権限を遺憾なく発揮していく
ことが、私たち議員の使命で
あると考えています。町民か
ら一層信頼されるため、議会
の役割を十分に発揮できるよ
う、議員自ら研さんを深め、
町当局との真摯な議論により
有効な政策を推進し、町の発
展に全力で尽くしてほしい。

—議会改革に一言

議長 全国はもとより県内の
町村でも議会基本条例の制定
や議会定例会の動画配信が広
がっています。

議員の質の向上、より開か
れた議会を目指すため動画配
信などから徐々に実施をして
行きたい。

—最後に、今年の抱負を

議長 町民に信頼され、存在
感のある議会を目指します。
また、四字熟語で表した新年
の抱負が副議長と全く同じだ
ったのには驚きました。「口
にしたことは何があっても成し
遂げる」、同じ抱負を持った
議会のトップの下、議員
それぞれの役割を果たし、町
民の皆様が将来にわたり住み
続けたいと思える「まちづく
り」に
引き続
き全力
で取り
組んで
まいり
ます。

